

医療法人三精会汐入メンタルクリニック：神奈川県

報告者 阿瀬川孝治

当院は神奈川県横須賀市にあり、三浦半島の地域医療および精神保健医療の一端を担うことを目的として2001年に開設され、現在まで活動している。当院の機能を整理すると、外来部門、心理療法部門、精神科リハビリテーション部門、訪問診療部門の4つに分けられる。外来診療部門では、複数医師（常勤医5名、非常勤医2名）による一般外来（思春期～老年期）、こども発達外来（常勤医1名）、PSW・看護師による相談・医療連携で構成される。心理療法部門では精神分析医、臨床心理士による個別・集団での心理療法や企業支援を、精神科リハビリテーション部門ではデイケア・ナイトケア、就労支援（IPSモデル）、訪問看護、家族心理教育などのプログラムを実施している。いずれも、院内・院外ともに多職種ミーティングが開催され、地域の精神障害・知的障害の自立支援事業所等と連携している。

当日は認知症の方への訪問診療部門の実践について報告する。横須賀市と横須賀市医師会が取り組んでいる在宅医療連携事業に当院も参画している。当院の役割は、認知症の方が住み慣れた自宅で長く暮らし続けられるよう、主治医として看取りまで関わるとともに、かかりつけ医・在宅医を後方・側面から支援することも多い。認知症の診断・アセスメントの補助、BPSDに対する適切な薬物療法・ケアの相談、併診する。いわば地域での黒子的、リエゾンの実践が増えている。